

8月定例記者会見の概要

1 日 時 令和2年8月3日(月)9時30分～10時30分

2 場 所 本庁舎4階 議場

3 出席者 <報道機関>

朝日新聞社 南相馬支局(南相馬記者クラブ加盟社)

毎日新聞社 南相馬通信部(南相馬記者クラブ加盟社)

読売新聞社 南相馬通信部(南相馬記者クラブ加盟社)

福島民報社 南相馬支社(南相馬記者クラブ加盟社)

福島民友新聞社 相双支社(南相馬記者クラブ加盟社)

みなみそうまチャンネル

計 9 社

<市側>

市長 林副市長 総務部長 復興企画部理事 経済部長

経済部笹野理事 教育委員会事務局長 健康福祉部次長

(テレビ会議)常木副市長 教育長

計 10 人

(司会進行)秘書課長

(会議記録)秘書課広報広聴係

【市政報告】

記者の皆様にはお忙しいところ、お集まりいただき誠にありがとうございます。

7月は定例会に加え、臨時議会、更にはコロナ関係での市の対応ということで、新型コロナの対策本部や記者会見などにご協力いただき誠にありがとうございます。本日は8月の定例会ということで今後の予定も踏まえてご説明させていただきます。

まず、前回の記者会見から最近までの出来事についてご報告いたします。

新型コロナウイルス感染症についてです。

本市で最後に感染者が確認された4月25日以降、昨日8月2日までの99日間、新たな感染者は出ていません。これも、市民の皆様のご理解・ご協力の賜物であり、改めて市民の皆様にご礼を申し上げます。

福島県は、これまでイベント開催制限等の段階的な緩和を図ってきましたが、国の方針や全国的な感染者の増加などを踏まえ、8月末まで現在の制限を継続することとしました。この方針を受けて、市も、7月31日に新型コロナウイルス対策本部会議を開催し、市内公共施設の利用や市主催イベントなどの方針について検討いたしました。その結果、現在の制限を8月まで延長するように改定を行いました。

また、今後、夏休みや帰省などで、県外との往来が活発になってきます。市民の皆様へは、県外との往来については、感染状況に細心の注意を払った上で、その必要性、タイミングを十分に検討いただくように周知してまいります。

市では引き続き、「感染防止」と「社会経済活動」のバランスをとってまいりますが、コロナ禍での生活が続く中で、親戚・家族での集まりや身近なところでのイベント事を含め、人と人の接点の減少が長引いております。その結果、生活リズムが単調となるなど、市民の健康面への影響を強く懸念しているところです。

原発事故の際、放射線への不安やストレス、外出自粛などが市民の健康に悪影響を与えたことは皆様ご承知のとおりです。

同じ轍を踏まないためにも、今後、市では、「感染防止対策」「社会経済活動の推進」という柱に、もう一つ「市民の心と体の健康保持」という新たな柱を加えた形で新型コロナ対策を進めてまいりたいと考えています。具体的には、感染対策の徹底を前提としつつ、市民の笑顔や楽しみが増える、それによって健康が維持、増進されるような事業を企画し実行する予定です。

これら3つの柱をバランスよく進めてまいりたいと考えております。

次に、臨時議会の開催についてです。

7月31日に開会した第6回市議会臨時会において、第5弾となる新型コロナウイルス感染症に対する緊急対応策などを含む補正予算など、議案2件について、議決を賜りました。

次に、令和2年7月豪雨の義援金についてです。

7月31日に、第二次集約分となる21万5,769円を日本赤十字社へ送金しました。

また、東日本大震災の際に、仮設住宅で人吉市からの派遣職員と繋がりがあった鹿島区寺内行政区の皆様から、個別に義援金をお預かりしましたので、この分は人吉市へ直接送金させていただきました。

次に、令和2年度の相馬野馬追についてです。

一時は、新型コロナウイルス感染症という言葉ば疫病により、開催すら危ぶまれた今年の相馬野馬追ですが、地域の平和と安寧を祈願し、三日間にわたる行事の幕を閉じました。

例年とは異なり、手探りでの開催となりましたが、疫病に屈せず、大過なく無事に執行できましたのも、関係者の皆様のご尽力によるものです。改めて、感謝を申し上げたいと思います。

来年度は盛大に執り行うことができるように準備を進めてまいりますが、近年の出場騎馬数の減少や今年の規模縮小での開催などにより、様々な課題も見えてきたところです。

今後、対策を進めてまいりますが、当面は馬主支援を目的としたクラウドファンディングに取り組む予定としており、本日朝時点で、156人の方からご支援を頂

いており、支援額は369万9千円となりました。目標額の達成に向けて、今後ともより多くの皆様からの応援をお願いしたいと思います。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

まずは、ふるさと学生応援制度についてです。

7月から申込の受け付けを開始したふるさと学生応援制度ですが、8月2日時点の申込者数は340人となっています。

市では、ふるさと支援品の第一弾の発送に合わせて、8月4日に、道の駅南相馬において、支援品「道の駅詰合せコース」の発送式を執り行う予定です。

次に、民間賃貸等住宅の媒介等に関する協定締結についてです。

市は、8月5日に、公益社団法人福島県宅地建物取引業協会と協定を締結いたします。

この協定は、新たに本市に拠点を構える事業者等に対して、住居などの情報提供や確保に関する支援を目的として締結するものです。

市内で起業しやすい環境整備を進め、人材誘導や企業誘致に繋げてまいりたいと思います。

次に、ロボットテストフィールドの見学会についてです。

7月の定例記者会見でもお伝えしておりましたロボテス見学会2020を、いよいよ8月22日に開催します。市民を対象として特別に開催するもので、市民の方はどなたでも見学できます。

事前のお申し込みが必要となりますので、詳しくは商工労政課までお問い合わせください。

次に、成人式に関する話題です。

市は、令和3年1月10日に、感染症対策を徹底した上で、成人式を開催する予定です。

具体的な対策としては、出席者を新成人のみとして、来賓も最小限にするなどの入場制限等を設けさせていただく予定です。コロナ禍での開催となりますので、新成人やご家族の皆様には、ご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、成年年齢が18歳に引き下げられる令和4年度の成人式については、アンケート等の結果も踏まえ、現在の年齢構成である20歳で開催する方針としましたので、ご報告申し上げます。

最後に、テレワークに関する話題です。

市では、新たなテレワーク環境の構築に合わせてパソコン100台を導入します。

これは、4月から5月にかけて試行した在宅・分散勤務の状況を踏まえて実施するもので、セキュリティを確保しながら、自宅で仕事ができる環境を整備するものです。新型コロナウイルス感染症の感染拡大時の活用を予定していますが、前段と

して、職員が操作に慣れるため、週1回の試行運用を予定しています。

私からの報告は以上です。皆さんからのご質問をお受けいたします。

【各部からの報告】

特になし

【各部からの資料提供】

経済部

- ・民間賃貸等住宅の媒介等に関する協定締結式
- ・ロボテス見学会2020

教育委員会

- ・令和3年南相馬市成人式の開催について
- ・成年年齢引下げ後の成人式について

【質疑応答】

質問1：

花火打ち上げの日時とアナウンス方法を教えてください。

回答1：市長

花火打ち上げは8月中旬を予定しています。具体的な日時については、まず、子ども達やエッセンシャルワーカー等の方々にお知らせし、その後、市民の方々へアナウンスする予定で考えております。

質問2：

花火打ち上げに係る協賛金の贈呈式について、当日に開催日程を発表するのは不親切ではないでしょうか。

回答2：市長

7月31日の臨時議会で議決後にしか公に出来ない案件でしたので、本日のご連絡となってしまいました。土、日曜の対応も検討できたと思いますので、今後は努力いたします。

質問3：

花火打ち上げの開催日時について、市が直前まで発表しない理由を教えてください。

回答3：市長

市では、感染防止の観点から様々な対応を検討しましたが、3密を避けての開催は難しいという結論となったことから、今回のような開催となりました。

感染拡大防止と健康保持の両立を狙って実施する事業ですので、色々と工夫して対応してまいりたいと思います。

質問4：

花火打ち上げについて、事前広報が数日前と1週間前で何が違うのでしょうか。

回答4：市長

事前広報の方法については、県外の方が多く集まり、密になることを懸念しての対応とご理解ください。

質問5：

県の宅地建物取引業協会との協定ですが、市民へのメリットを教えてください。

回答5：市長

市外の会社や新規創業者、あるいは南相馬市で起業したいという方の困りごととして住まいが関係してまいります。市内のアパートや一軒家などの情報を速やかに、複数提示したいということから今回の協定を締結するものとなります。

回答5：笹野理事

市民へのメリットですが、企業誘致という形で様々な企業を呼んでおります。そういった方々の飲食店での食事や買い物などをおして、町全体が盛り上がってきていますので、市民生活にも良い影響があると考えております。

質問6：

成人式のアンケートについて実施方法を教えてください。アンケートの対象者は無作為ということによろしかったでしょうか。

回答6：教育委員会事務局長

アンケートの実施内容ですが、調査対象者が市内に住所を有する16歳以上18歳までの成人対象者と20歳以上、69歳以下の市民、約2千件となります。

対象者の抽出方法は無作為抽出の郵送方式です。

質問7：

成人式のアンケートについて成人対象者を16歳以上18歳までとした理由と人数を教えてください。

回答7：教育委員会事務局長

令和4年の成人式は18、19、20歳の方々が対象となるためです。人数については、詳細な人数の内訳が手元にありませんので、後ほどお知らせいたします。

質問8：

宅地建物取引業協会との協定ですが、ここで活用される民間賃貸等住宅は、こういった物件を想定しているか教えてください。

回答8：市長

不動産斡旋業者に登録のある物件が対象となります。

以上